

## 令和6年度事業報告

令和6年度の日本経済は、「デフレ完全脱却のための総合経済対策」の進捗に伴い、個人消費や設備投資等の内需がけん引する形で、GDP成長率は、実質で1.3%程度、名目で3.0%程度と見込まれ、熊本県においては、物価上昇の影響等がみられるものの、個人消費は緩やかに回復し、設備投資、生産や観光は高水準で推移する等総じて緩やかに回復しているとの見方もあるが、先行きについては、海外の経済動向や資源価格の動向、企業の賃金・価格設定行動等の影響を注視していく必要がある。

トラック運送業界においては、2024年問題の対応、燃料価格の高騰や燃料に対する国の補助金減額、車両本体や修理費の高騰、若年労働者不足など、会員を取り巻く経営環境の厳しさから、令和6年4月から本年3月までの間に会員18事業者が休廃止等により退会となるなど、厳しい業界の現状が浮き彫りになった。

このような情勢の下、令和6年4月に改正改善基準告示が適用され、トラックドライバーの労働時間規制が強化される中、5月には新物流効率化法及び改正貨物自動車運送事業法が公布され、物流の効率化ならびに商慣行の見直しを図るため、荷主・物流事業者が取り組むべき措置が定められ、物流の持続的成長が図されることとなった。

また、荷主対策の深化については、トラック物流GメンとGメン調査員の連携により荷主・元請け事業者への監視体制の強化が行われるなど、業界を支援する措置が取られているものの、価格転嫁交渉は困難を極める状況が、依然として継続している。

これらの状況から、昨年10月には、県下約3,000社の荷主企業に対して、熊本運輸支局長、熊本労働局長、熊本県警察本部交通部長、協会長の4者連名により、「トラック運送事業の適正取引及び事故防止に関するお願い」の文書を発出した他、熊本日日新聞へ3回の意見広告を行い、一般消費者へ2024年問題、価格転嫁について積極的に周知を行い、荷主企業等に対して、適正な取引環境整備の周知活動を行ったところである。

また、経営基盤強化対策の一環として、広報面から昨年に引き続き、県内民放テレビ4局の朝のニュース番組等を中心として「標準的な運賃」「燃料サーチャージ」「2024年問題」についての意識啓発CM放送を展開し、これに併せ人材確保対策のためのリクルートムービーをSNS広告でトラックドライバーの活躍を広くPRするなど、会員事業者の若手人材採用の後押しとなるよう広報活動にも取り組んだ。

そのほか、トラック運送事業者への支援に係る要望は、下川会長をはじめ各副

会長等が、熊本県をはじめ自民党県支部連合会、公明党熊本県本部への要望活動を展開した。熊本県等に対しては、持続可能な物流に資する経営環境改善対策の実施など、3項目の要望を(注1)を行った。

結果として、熊本県内3自治体が支援を行われ、令和7年度に5自治体から支援が行われることになった。また、熊本県では、県施策の「トラック物流燃費向上支援事業」及び「トラック物流人材確保支援事業」が2月議会で議決承認され、令和7年度に、トラック運送事業者向けのエコタイヤ導入助成事業や物流人材確保策が実施されるなど、上記要望内容の実現が図られた。

また令和5年12月19日に、熊本県、国、経済団体、労働団体など当協会を含む16団体と協定締結を行った「価格転嫁円滑化協定」についても、協定期間の延長が実現した。

また、国に対しては全ト協とも連携し、自動車関係諸税の簡素化・軽減、特例措置の延長、高速道路料金の引下げ、物流基盤の整備などの要望を行った。

その他、総務関係では、九州トラック協会、公益社団法人全日本トラック協会と連携し、第29回全国トラック運送事業者大会を初めて熊本市で開催し、大変盛況な大会として評価された。また、これに併せて下川会長と木村県知事との新聞対談を行い、トラック運送の社会的役割や持続可能なトラック運送のための「標準的運賃」の周知広告を見開きページとして熊本日日新聞に掲載した。大規模災害発生等に備えた災害物流専門家研修を2日間に亘り行い、県内自治体も多数参加するなど、情報共有の機会創出にも努めた。

交通・環境対策としては、無事故チャレンジ運動や環境クリーンキャンペーンの実施、交通事故防止に係る街頭キャンペーンや交通事故・労働災害防止大会を開催した他、事故防止用品の配布、トラックの森づくりとして、公益社団法人全日本トラック協会、熊本市と連携し、「くまもと花博」のまち山会場である雁回公園等に植樹を行うなど、交通環境対策を推進した。

適正化事業対策では、安全性優良事業所(Gマーク)の利用拡大のため九州産交バスの車内ヘステッカー広告を実施した他、総合評価がD・Eの事業者への巡回指導の強化や特別巡回指導等による輸送秩序の確立に努めた。

労働対策としては、労働力・人材確保対策の推進として、企業合同説明会を県内2か所で開催したほか、退職予定自衛官向け運輸業合同説明会を初めて開催した。

また物流出前授業を自衛隊や高校など9か所で実施、会員事業所及び熊本学園大学と連携したサマースクールのほか、ハローワークと連携して職業理解セミナーや就職相談会に対応。その他労務管理セミナー等、くまもと産業復興エキスポへの出展など、労働力確保対策を推進した。

経営改善関係では、企業経営に関する各種セミナー・講習会の開催等経営基盤

の強化を図りながら、次代を担う青年部会においては、九州大会を熊本市で開催するなど、精力的に各種事業活動に取り組んだところである。

このように、会員事業者の協力のもと、国内物流の大宗を担うトラック運送事業者として県民生活を守り、また、トラック運送業界の「社会的貢献」が正しく理解・評価され、社会的地位が向上するべく各種の取組みを行った。

実施事業等の詳細については、次ページ以降のとおりである。

#### 「注1」【県ト協の主な要望事項】

1. 持続可能な物流に資する経営環境改善対策の実施
2. 適正取引等消費者・荷主対策の一層の強化
3. 交通渋滞のない道路・輸送環境の早急な整備

## 令和6年度事業報告

### [総務・交付金運営委員会]

#### 1. 最重点項目

(1) 物流革新に向けた政策パッケージに基づく「2024年問題」への対応（広報）

①熊本日日新聞の別刷県政特集に、半5段カラー広告を掲載し、県民への周知を図った。

令和6年8月16日（金）掲載

(2) 物流革新に向けた政策パッケージに基づく「2024年問題」への対応（各種要望・陳情活動）

①自民党岸田総裁との車座対話

期日：4月6日（土）

場所：自民党県連2階 会議室

対応：(協会) 下川会長、専務理事

(自民党) 岸田総裁

②公明党政策要望懇談会

期日：5月11日（土）

場所：グランメッセ熊本2階 会議室

対応：(協会) 正副会長、専務理事、常務理事、事務局長

(公明党) 山口代表、吉田衆議院議員、河野参議院議員、城下県議会議員他

③熊本県に対する陳情要望

期日：8月1日（木）

場所：熊本県庁5階 審議会室

対応：(協会) 正副会長、専務理事、常務理事、事務局長

(県) 上田商工労働部長、鍬本健康福祉部政策審議監、磯谷農林水産部政策審議監、  
宮島土木部長、佐崎商工労働部政策審議監兼商工雇用創生局長、他

④自民党県連に対する陳情要望

期日：8月8日（木）

場所：自民党県連2階 会議室

対応：(協会) 正副会長、専務理事、常務理事、事務局長

(県連) 前川会長、藤川団長、松田幹事長、吉永政調会長

⑤県選出国会議員に対する陳情要望

期日：12月5日（金）

場所：ホテルニューオータニ

対応：(協会) 正副会長、専務理事、常務理事、事務局長

(国会議員) 金子恭之氏、坂本哲志氏、木原稔氏、西野太亮氏、松村祥史氏、  
藤木眞也氏、馬場成志氏（代理柴田啓介氏）

## ⑥県内自治体に対する燃料価格高騰に係る支援措置要望

熊本市をはじめ、県内の全市町村に燃料価格高騰に係る支援の要望書を送付した。

結果、大津町、玉東町から所在する事業者に対して、燃料費支援が行われた。

また現在、菊池市、人吉市、天草市、上天草市、苓北町、菊陽町については、支援案について、議会議上中となっている。（3月14日現在）

## (3) 改正「標準的な運賃・標準運送約款」の活用等による適正なコスト収受等転嫁対策の推進他 (メディア及びホームページ等の活用)

### 1. 新聞・雑誌

#### ア 熊本日日新聞

- ・ 8月16日(金)掲載 2024県政特集への協賛広告 (広告)
- ・ 10月 3日(木)掲載 トラックの日について 30段 (広告)
- ・ 1月10日(金)掲載 燃料サーチャージに係る広報 3段 (広告)
- ・ 1月17日(金)掲載 燃料サーチャージに係る広報 5段 (広告)
- ・ 1月24日(金)掲載 燃料サーチャージに係る広報 15段 (広告)
- ・ 8月10日(土)掲載 「NO飲酒運転KUMAMOTO」(名刺広告)
- ・ 8月14日(水)掲載 「NO飲酒運転KUMAMOTO」(名刺広告)
- ・ 8月16日(金)掲載 「NO飲酒運転KUMAMOTO」(名刺広告)
- ・ 8月20日(火)掲載 「NO飲酒運転KUMAMOTO」(名刺広告)
- ・ 8月23日(金)掲載 「NO飲酒運転KUMAMOTO」(名刺広告)
- ・ 11月30日(土)掲載 「NO飲酒運転KUMAMOTO」(名刺広告)
- ・ 12月 4日(水)掲載 「NO飲酒運転KUMAMOTO」(名刺広告)
- ・ 12月10日(火)掲載 「NO飲酒運転KUMAMOTO」(名刺広告)
- ・ 12月18日(水)掲載 「NO飲酒運転KUMAMOTO」(名刺広告)
- ・ 12月27日(金)掲載 「NO飲酒運転KUMAMOTO」(名刺広告)
- ・ 4月17日(水)掲載 交通安全街頭キャンペーン (掲載記事)
- ・ 6月22日(土)掲載 (公社)熊本県トラック協会通常総会 (掲載記事)
- ・ 8月 2日(金)掲載 価格転嫁支援を県に要望 (掲載記事)
- ・ 10月 4日(金)掲載 全国トラック運送事業者大会開催 (掲載記事)
- ・ 10月 5日(土)掲載 交通安全街頭キャンペーン (掲載記事)
- ・ 10月 7日(月)掲載 環境クリーンキャンペーン (宇城支部) (掲載記事)
- ・ 10月22日(火)掲載 環境クリーンキャンペーン (玉名支部) (掲載記事)
- ・ 11月 6日(水)掲載 国府高校での物流出前授業 (掲載記事)
- ・ 12月 2日(月)掲載 ネパール駐日大使 運送業界にアピール (掲載記事)
- ・ 1月25日(土)掲載 新春経営セミナー (掲載記事)
- ・ 2月 9日(日)掲載 合同企業説明会 (掲載記事)

#### イ 読売新聞

- ・ 6月28日(金)掲載 みんなで考えよう物流の2024年問題 15段 (広告)

- ・ 1月 4日(金)掲載 燃料サーチャージに係る広報 15段(広告)
- ・ 8月 2日(金)掲載 熊本県への要望活動(掲載記事)
- ・ 2月 20日(木)掲載 災害物流専門家研修開催(掲載記事)

#### ウ 物流ニッポン

- ・ 4月 26日(金)掲載 春の交通安全街頭キャンペーン(掲載記事)
- ・ 5月 3日(金)掲載 青年部会総選挙通常総会開催(掲載記事)
- ・ 5月 24日(金)掲載 Gマーク説明会を開催(掲載記事)
- ・ 5月 31日(金)掲載 公明党に政策要望(掲載記事)
- ・ 6月 18日(火)掲載 陸上自衛隊と意見交換(掲載記事)
- ・ 6月 28日(金)掲載 開新高校物流出前授業(掲載記事)
- ・ 7月 5日(金)掲載 通常総会開催(掲載記事)
- ・ 7月 23日(火)掲載 トラックドライバー・コンテスト(掲載記事)
- ・ 7月 26日(金)掲載 熊本学園大学物流出前授業(掲載記事)
- ・ 8月 6日(火)掲載 自衛官対象とした運輸業の合同説明会(掲載記事)
- ・ 10月 1日(火)掲載 事業者大会歓迎広告(広告)  
熊本県知事との「持続可能」へ向けての対談(掲載記事)  
全ト協事業者大会特集(広告)
- ・ 11月 29日(金)掲載 木材輸送部会デモンストレーション(掲載記事)
- ・ 12月 3日(火)掲載 熊本学園大学物流出前授業(掲載記事)
- ・ 12月 20日(金)掲載 交通遺児激励事業への寄付(掲載記事)
- ・ 2月 4日(火)掲載 菊地女子高校物流出前授業(掲載記事)
- ・ 2月 7日(火)掲載 新春経営セミナー及び賀詞交歓会
- ・ 2月 18日(火)掲載 全ト協青年部会九州ブロック熊本大会(掲載記事)
- ・ 2月 25日(火)掲載 2会場で企業合同説明会を開催(掲載記事)
- ・ 2月 28日(金)掲載 災害物流専門家研修開催(掲載記事)
- ・ 3月 4日(火)掲載 新入学児童へ交通安全用品寄贈城南支部(掲載記事)
- ・ 3月 21日(金)掲載 トラック輸送における取引環境・労働時間改善  
熊本県地方協議会(掲載記事)
- ・ 3月 25日(火)掲載 有明高校出前授業(掲載記事)

#### エ 輸送経済

- ・ 4月 9日(火)掲載 物流の危機に係るコメント(掲載記事)
- ・ 7月 2日(火)掲載 通常総会開催(掲載記事)
- ・ 12月 17日(火)掲載 労働力確保に係るコメント(掲載記事)
- ・ 2月 4日(火)掲載 新春経営セミナー及び賀詞交歓会
- ・ 3月 4日(火)掲載 適正運賃収受に係るコメント(掲載記事)

(4) 大規模自然災害発生時等に備えた災害物流専門家の育成等防災マネジメントの普及拡大並びに各種防災訓練の参加対応等

①第2回ぼうさいこくたい2024現地情報共有・連携会議

期日：令和6年4月25日（木）

会議：オンライン

対応：事務局長

②第3回ぼうさいこくたい2024現地情報共有・連携会議

期日：令和6年5月16日（木）

会議：オンライン

対応：事務局（2名）

③熊本県災害救助法に係る連絡調整会議

期日：令和6年5月21日（火）

場所：熊本県庁 防災センター

対応：専務理事、事務局長

④熊本県災害時交通マネジメント検討会

期日：令和6年5月24日（金）

会議：オンライン

対応：事務局（1名）

⑤八代市防災会議及び国民保護協議会

期日：令和6年5月27日（月）

場所：八代市役所

対応：富田城南支部長

⑥自衛隊部外協同研究

期日：令和6年5月30日（木）

場所：自衛隊健軍駐屯地

対応：専務理事、事務局長

⑦荒尾市第1回防災対策連絡会議

期日：令和6年7月11日（木）

場所：荒尾市役所

対応：玉名支部事務局

⑧八代市総合防災訓練第1回検討会

期日：令和6年7月18日（木）

場所：八代市役所

対応：城南支部事務局

⑨水俣市防災フェスタ第1回調整会議

期日：令和6年8月27日（火）

場所：水俣市役所

対応：城南支部事務局

⑩八代市総合防災訓練第2回検討会

期日：令和6年9月5日（木）

場所：八代市役所

対応：城南支部事務局

⑪荒尾市第2回防災対策連絡会議

期日：令和6年9月12日（木）

場所：荒尾市役所

対応：玉名支部事務局

⑫水俣市防災フェスタ第2回調整会議

期日：令和6年9月27日（金）

場所：水俣市役所

対応：城南支部事務局

⑬熊本県総合防災訓練（机上訓練）

期日：令和6年10月5日（土）

場所：熊ト協

対応：事務局（2名）

⑭ぼうさいこくたい2024

期日：令和6年10月19日（土）～20日（日）

場所：熊本城ホール

対応：事務局（3名）

⑮水俣市防災フェスタ

期日：令和6年11月10日（日）

場所：水俣市内

対応：城南支部会員事業者及び事務局

⑯公益社団法人広島県トラック協会との災害視察研修（台風接近により延期）

期日：令和6年11月14日（木）～15日（金）

場所：熊ト協及びグランメッセ熊本、熊本県庁防災センター

対応：広島県ト協（3名）、熊ト協（3名）

⑰荒尾市総合防災訓練

期日：令和6年11月24日（日）

場所：荒尾市内

対応：玉名支部会員事業者及び事務局

⑱熊本市震災対処訓練

期日：令和6年11月24日（日）

場所：熊本市役所

対応：事務局

⑲荒尾市第5回防災対策連絡会議

期日：令和6年12月12日（木）

場所：荒尾市役所

対応：玉名支部事務局

⑳災害時物流の課題解決に向けたシステムの検討

熊本県、株式会社デンソーと災害時物流の課題解決に向けたシステムについて、検討を次とおり行った。

期日：令和6年11月13日（水）

場所：熊ト協

対応：熊本県企画部、株式会社デンソー（5名）、熊本県トラック協会（3名）

期日：令和7年1月30日（木）

場所：熊ト協

対応：熊本県企画部、株式会社デンソー（5名）、熊本県トラック協会（3名）

②①令和6年能登半島豪雨に係る緊急物資輸送対応

災害時の緊急物資輸送協定に基づき、八代市からの物資輸送要請を受け、登録会員事業所の車両により緊急物資輸送対応を行った。

期日：令和6年11月19日（火）～21日（木）

内容：10トン車1両が石川県珠洲市へ輸送

②②災害物流専門家研修（総合型2日間）

自然災害や特定家畜伝染病の防疫活動に係る緊急物資輸送に対応できる「災害物流専門家」を育成するとともに、県内自治体にも緊急物資輸送に係る情報共有を図るため、専門講師を招へいし、研修会を行った。

期日：令和7年2月13日（木）～2月14日（金）

場所：熊ト協

受講者：16名（会員） 16名（自治体等）

講師：（株）NX総合研究所 シニアコンサルタント 佐藤 大二郎氏

コンサルタント 興村 徹氏

公益社団法人熊本県トラック協会 前専務理事 吉住 潔氏

## （5）新技術を活用したDXの推進

基幹システム導入のために、理事、アドバイザー、開発事業者、事務局で現行基幹システムと新システムとの比較、追加機能などについて打合せ会議を行った。

①第1回打合せ

期日：令和6年5月22日（水）

場所：県ト協

対応：本田理事、森高コンサルタント、新星工業社、事務局他

②第2回打合せ

期日：令和6年6月10日（月）

場所：県ト協（Z o o m）

対応：本田理事、森高コンサルタント、新星工業社、事務局他

③第3回打合せ

期日：令和6年9月3日（火）

場所：県ト協

対応：森高コンサルタント、事務局

④第4回打合せ

期日：令和6年10月9日（水）

場所：県ト協

対応：本田理事、森高コンサルタント、新星工業社、事務局他

## ⑤第4回打合せ

期日：令和7年3月6日（木）

場所：県ト協

対応：森高コンサルタント、新星工業社、事務局他

## 2. 重点項目

### （1） トラック日の実施について

今年度の「トラックの日」については、熊本日日新聞を活用し、全国トラック運送事業者大会を通じた県民へのトラック輸送の重要性などについて、木村県知事と下川会長による紙面座談会を掲載して、広く県民に周知を行った。

また、併せて、「標準的な運賃」についても、荷主企業などへの理解促進の広告を掲載した。

期日：令和6年10月3日（木）

媒体：熊本日日新聞（見開き30段カラー広告）

### （2） 広報誌等による情報提供

月刊広報誌「トラック広報くまもと」を発行し、最新情報の共有、セミナー、会議等の結果等事業の実施に係る周知や実施結果報告等について会員企業等に対してタイムリーに情報提供を行った。

### （3） 各種表彰関係

#### ①永年継続企業表彰

被表彰会員企業 6社

#### ②国土交通大臣表彰

被表彰者 3名

#### ③九州運輸局自動車関係功労者表彰

##### ア事業役員表彰

被表彰者 9名

##### イ従業員部門表彰

被表彰者 2名

##### ウ運転者部門表彰

被表彰者 6名

#### ④九州運輸局自動車運送事業者無事故表彰（第1回表彰）

期日：令和6年9月6日（金）

場所：熊本運輸支局

被表彰会員企業：3社

#### ⑤全ト協優秀運転者顕彰

被表彰者 68名（金十字章9名、銀十字章59名）

#### ⑥全ト協表彰規定による表彰

被表彰者 18名（役員6名、従業員2名、運転者10名）

#### ⑦全ト協正しい運転・明るい輸送運動表彰

被表彰事業所 3事業所

(4) 新春賀詞交歓会の開催

期日：令和7年1月24日（金）

場所：ホテル日航熊本

参加者：約230名（会員、来賓等）

(5) 協会事務局の強化及び業務の見直し

事務局では外部の各種セミナー、研修会、事務局会議に出席し研鑽を行った。

(6) 支部による共済代理店事業の実施

7支部では、共済代理店として共済掛金の集金業務等事業を行った。

### 3. 全ト協と連携して行う項目

(1) 全日本トラック協会が主催する第29回全国 トラック運送事業者大会への対応及び参加

第29回全国 トラック運送事業者大会が本県において開催されるにあたり、公益社団法人全日本 トラック協会、九州 トラック協会と連携し、数次に亘る打合せ会議を行い、円滑な運営が行われるよう対応した。

開催期日：令和6年10月3日（木）

開催場所：熊本城ホール及びホテル日航熊本

参加者：約1,250名（うち、熊本県からの参加者100名）

内容：開会

① 開催地ブロック協会長挨拶 九州 トラック協会 会長 馬渡 雅敏

② 主催者挨拶 公益社団法人全日本 トラック協会 会長 坂本 克己

③ シンポジウム 2024年を「物流革新元年」に

コーディネーター 京都大学大学院工学研究科 教授 藤井 聰 氏

パネリスト 国土交通省物流・自動車局 貨物流通事業課長 三輪田 優子 氏

他5名

④ 記念講演会「名将の言葉-武人の生き様と美学」

歴史学者（東京大学資料編纂所教授）本郷 和人氏

⑤ 全体会議

（ア）大会決議 九州地区運輸青年部連絡協議会 会長 住永 富司

（イ）来賓挨拶 国土交通省 物流自動車局 局長 鶴田 浩久氏

熊本県 知事 木村 敬 氏

（ウ）来賓紹介、祝電披露

（エ）次回大会開催地ブロック協会長挨拶 北陸信越ブロック協会 会長 小林和男

（オ）ガンバローコール 公益社団法人鹿児島県 トラック協会 会長 鳥部 敏雄

（カ）閉会挨拶 公益社団法人長崎県 トラック協会 会長 馬場 邦彦

⑥ 懇親会

（ア）開会挨拶 公益社団法人熊本県 トラック協会 会長 下川 公一郎

- (イ) 来賓挨拶 熊本市副市長 深水 政彦氏  
(ウ) 閉会挨拶 公益社団法人大分県トラック協会 会長 仲 浩

## [交通・環境対策委員会]

### 1. 最重点項目

#### (1) 交通事故防止対策の推進

##### ① 無事故チャレンジ運動の実施 公益2-【5】

令和6年10月1日～令和7年1月8日までの100日間、社会との共生を図りながら、公共の道路を活用し、公共輸送の使命を担うトラック運送業界においては、交通事故防止対策は最重要課題の1つであることから、年末年始の輸送繁忙期の交通量が増加する時期に、関係行政機関と連携し、交通事故ゼロを目指し、交通事故防止対策を推進した。

また、参加186事業所から、表彰基準を満たした42事業所を三者連名表彰（熊本運輸支局長、熊本県警察本部交通部長、トラック協会会長）、127事業所を協会長表彰として表彰した。（計169事業所）

##### ② 交通事故・労働災害防止大会の開催 公益2-【5】

年末の輸送繁忙期にかけて、事業用トラックによる交通死亡事故や労働災害防止対策の推進を目的に、交通事故防止及び労働災害防止研修会を実施した。

日 時：令和6年10月9日（水）13時30分～16時00分

場 所：ホテル熊本テルサ たい樹

参 加 者：91社103名

講 演 I：「企業にとっての交通事故防止の必要性」

講 師：MS&ADインターリスク総研㈱

　交通安全サポートグループ テクニカルアドバイザー 鶴田 祐士氏

講 演 II：「労働災害防止対策について」

講 師：熊本労働局健康安全課地方産業安全専門官 近藤 邦博氏

##### ③ 飲酒運転事故の根絶に向けた取り組み 公益2-【5】

飲酒運転による交通事故は、反社会的行為であるとともに、社会的信頼性を失墜させることから、熊本県警察と連携し、飲酒運転防止のぼり旗を全会員に配布することにより、飲酒運転根絶の啓発活動を行った。

##### ④ 交通安全街頭キャンペーンの実施 公益2-【5】

全国交通安全運動の実施に併せて、熊本県警協力のもと、南九州交通共済協同組合及び自動車安全運転センター熊本県事務所と合同で、熊本県内の交通事故が多発している交差点において、トラックドライバー一般ドライバーに対して、安全運転を呼びかけ、交通事故防止を図るため街頭キャンペーンを実施した。

ア 春の全国交通安全運動

日 時：令和6年4月10日（水）14時00分～14時40分  
 場 所：熊本市民病院前交差点（熊本市東区）  
 参加者：20名

イ 秋の全国交通安全運動  
 日 時：令和6年9月26日（木）15時00分～15時40分  
 場 所：熊本市民病院前交差点（熊本市東区）  
 参加者：25名

### ⑤ 第44回熊本県トラックドライバー・コンテストの開催 公益2-【5】

運転技能と関係法令及び車両構造等に係る専門的な知識を競い、他の模範となることで、社会的責務を担うトラックドライバーとしての自覚と誇りを醸成し、交通事故防止の推進と環境負荷の低減に寄与することを目的に、第1部（全国大会選抜競技）及び第2部（県大会チャレンジ競技）、第3部（ステップアップ競技）の3部構成で実施した。

また、県大会の第1部の中型車部門、大型車部門、けん引車部門、女性部門の選手は、令和6年10月26日（土）～28日（月）、自動車安全運転センター安全運転中央研修所（茨城県ひたちなか市）において開催された全国大会に出場した。（各部門入賞者はなかった。）

開催日：令和6年7月7日（日）  
 場 所：八代ドライビングスクール  
 参加者：19事業所38名

#### 【第1部】

中型車部門18名、大型車部門10名、けん引車部門5名、女性部門2名

#### 【第2部】

中型車部門1名、大型車部門1名、女性部門1名

#### 【部門別優勝者】

部 門 别	所 属	選 手 名
第1部		
中型車部門	日本通運㈱熊本支店熊本中央事業所	村上 優
大型車部門	南九州センコー㈱八代営業所	蘭月 光
けん引車部門	熊本旭運輸㈱本社営業所	村上 恭介
女性部門	南九州センコー㈱宇土営業所	小宮 法子
第2部		
中型車部門	(株)亀万運送本社営業所	東 富士男
大型車部門	(株)亀万運送本社営業所	新田 真
女性部門	Carry MAMA(株)	元村 鈴花
特別賞		
トラック協会長特別賞	ヤマトボックスチャーター㈱熊本支店	荒井 貴臣

（敬称略）

#### ⑥ 事故防止用品の作製 公益2-【1】-〈4〉

新入学児童に対する交通事故防止用品を各地域振興局単位の教育事務所を通じて、当該地域の支部長より、令和7年2月から3月にかけて、交通事故防止関連用品としてメッシュケース（17,000枚）を寄贈した。

また、事業者やトラックドライバーに対する交通事故防止の啓発を図るため、交通渋滞予想地域及び交通安全年間スローガン入りカレンダーを作製（1,600部）したほか、飲酒運転根絶のため、飲酒運転ゼロのぼり旗を作製・配付（1,000枚）し、意識啓発を図った。

#### ⑦ 事業用貨物自動車の業務中における交通事故発生状況（2024年中）

《熊本県警察本部資料》

	発生件数	死 者 数	負傷者数	飲酒運転
大型貨物	32（-5）	0（±0）	41（-8）	0（-1）
中型貨物	16（±0）	0（-1）	16（-3）	0（±0）
準中型貨物	11（-3）	1（+1）	16（-5）	0（±0）
普通貨物	2（+1）	0（±0）	2（+1）	0（±0）
合 計	61（-7）	1（±0）	75（-15）	0（-1）

（ ）内は、前年対比

#### 【目 標】

- 発生件数 60件以下
- 死者数 0人
- 負傷者数 80人以下
- 飲酒運転 0件

※負傷者は減少したものの、今年度の目標は達成できなかった。来年度も引き続き、飲酒運転を含めた交通事故防止対策の徹底強化を行う。

#### （2）安全教育の普及促進

##### ① ドライバー等安全教育訓練助成事業の周知 公益2-【2】-〈6〉

全ト協が助成するトラックドライバー及び安全運転管理者等を対象とした安全運転研修所における安全教育訓練について、広報紙及びホームページ等で普及促進を図った。

参加者：延べ4社8名参加

##### ② 安全運転研修会の実施 公益2-【2】-〈6〉

初任運転者等教育の研修会を福岡県おんが自動車学校、八代ドライビングスクールで開催した。

また、交通事故防止に関する知識及び省燃費運転による運転技能向上等を目的に、ドライバー等を対象とした研修会を八代ドライビングスクールで開催した。

ア 福岡県おんが自動車

2日コース 一般・初任運転者、指導監督者研修

参加者：延べ10社17名

イ 八代ドライビングスクール

2日コース 一般・初任運転者、指導監督者研修

参加者：延べ12社18名

ウ 1日コース 省燃費等・安全運転研修

参加者：延べ24社53名

③ 交通事故統計の情報提供 **公益2-【1】-〈1〉**

交通事故防止の意識向上及び安全運転の啓発並びに運転者に対する指導・監督の際の資料に活用できるよう、事業用トラックの交通事故統計（熊本県警察資料）を「トラック広報くまもと」へ掲載した。

## 2. 重点項目

(1) 環境クリーンキャンペーンの実施 **公益4-【1】-ア**

「トラックの日」の関連事業として、10月を「環境月間」と定め、令和6年10月5日（土）を「実施統一の日」として、各支部の会員事業所のドライバーやその家族、地元地域の小中学生、協会役員等により、令和6年10月4日（金）～10月20日（日）にかけて、日頃利用している道路に感謝を込めて、幹線道路やその周辺地域において清掃活動を行った。

（12支部982名参加）。

(2) 「トラックの森」づくり緑化推進事業 **公益4-【1】-ウ**

CO<sub>2</sub>の削減に寄与することを目的に、「トラックの森」づくり緑化推進事業の取り組みを行い、本年度は全国事業者大会と併せて行われる「トラックの森植樹事業」と共に、「くまもと花博」の「まち山」会場である雁回公園及び第一展望所へ植樹を行った。

(3) ゴミのポイ捨て対策の実施について（新）**公益4-【1】**

全ト協作成の「トラック運送業界の環境ビジョン2030」に基づき、SDGsと連動したゴミの削減やポイ捨て対策の推進を図る。

(4) 各種助成事業の実施

交付金等助成事業の活用を促進するため、熊本県トラック協会の助成事業の目的、申請方法等をトラック広報くまもとで周知した。

① ドライブレコーダー機器導入促進助成 **公益2-【2】-（4）**

32社 98台 1,620千円

② 安全装置等導入促進助成 **公益2-【2】-（2）**

57社 109台 3,147千円

③ アルコール検知器助成 **公益2-【2】-（1）**

38社 53台 1,018千円

- ④ 環境対応車導入促進助成(CNG車、ハイブリッド車) 公益4-【2】-〈1〉  
0社
- ⑤ グリーン経営認証取得助成 公益4-【2】-〈2〉  
17事業所 687千円
- ⑥ 自動点呼機器導入助成 公益4-【2】  
27事業所 2,700千円
- ⑦ ポスト新長期車両に対する融資推薦 公益4-【3】  
環境対策を推薦するためポスト新長期規制適合車導入促進に係る融資の推薦を行うとともに、その利子の補給を行った。(推薦件数4件)

#### (5) 渋滞箇所及び駐車スペースや休憩・休息施設の整備・拡充 公益1-【5】

労働環境改善による安全運転確保のために、渋滞箇所の改善や十分な休憩を確保できる施設として、SA・PA、道の駅における大型車、または、特大車用の駐車スペースや、休憩・休息施設となる建屋内設備の整備・拡充について、会員事業者の意見を踏まえながら、全ト協及び関係機関と連携して、働きかけを行った。

#### (6) まちなか駐車場適正化計画に伴う荷さばき等のルール化の対応 公益1-【5】

熊本市による「まちなか駐車場適正化計画」に基づき、まちなかの荷さばき等のルール化の推進が行われるため、熊本市駐車場適正配置検討委員会に参画し、輸送効率の向上及び労働環境の改善による過労運転防止を目的とした荷さばき施設の設置に向けたアンケート等の対応を行った。

### 3. 全ト協と連携して行う項目

#### (1) 事業用トラックによる交通事故実態の把握と要因分析及び事故防止対策の啓発 公益2-【1】

「トラック事業における総合安全プラン2025」の目標達成に向けて、全ト協と連携し、事故分析結果に基づく、より実効性のあるセミナーを通じて事故防止対策の促進を図った。

日 時：令和6年12月12日（木）13時30分～16時30分

場 所：熊本県トラック協会 研修センター

参 加 者：18事業所21名

実施内容：「事業用トラックにおける事故の傾向と防止対策」

講 師：SOMPOリスクマネジメント㈱

モビリティコンサルティング専門コンサルタント 土谷 隆司氏

#### (2) 「重要物流道路」の追加指定や機能強化の推進 公益1-【5】

大型トラックが特殊車両通行許可不要でスムーズに走行できる環境の実現に向けて、重要物流道路の追加指定及び指定された区間の道路整備が早期完成・供用されるよう全ト協が行う国土交通省等に対する要望活動に全ト協と連携し取り組んだ。

#### (3) 駐車問題見直しへの対応 公益1-【5】

貨物集配中の事業用トラックに係る駐車規制の見直しに伴う諸課題について、情報収集に努

め、必要に応じ、改善に向けた関係機関への働きかけを全ト協と連携し取り組んだ。

## [経営改善委員会]

### 1. 最重点項目

#### (1) 経営基盤強化対策の推進 公益1-【5】-〈1〉-ウ

荷主企業と会員事業者が、トラック運送業界を取り巻く環境や当面する課題などを共有し、輸送の効率化と高度化・多様化を求める荷主ニーズに応え、より良い輸送サービスを提供するために「新春経営セミナー」を開催した。

日 時：令和7年1月24日（金）15時00分～

場 所：ホテル日航熊本「阿蘇」

参加者：147名（会員106名、荷主団体等31名、）

講演I：「労務費の適切な転嫁」

公正取引委員会事務総局九州事務所 下請課 下請取引調査官 梅木 俊明 氏

講演II：「これからの中政のゆくえ」

ジャーナリスト 後藤 謙次 氏

#### (2) 改正「標準的な運賃・標準運送約款」の活用等による適正なコスト収受等転嫁対策の推進

#### 公益1-【5】-〈1〉-カ

##### ① 改正「標準的な運賃」及び「標準運送約款」の周知

改正「標準的な運賃」及び「標準運送約款」について会員事業者に理解いただくため、改正「標準的な運賃」の告示に伴う参考運賃表及び荷主企業等に対する運賃交渉に、活用いただくためのパンフレットを配布した。

##### ② 「標準的な運賃」活用セミナーの開催

標準的な運賃と自社原価の関連を踏まえた交渉方法など、標準的な運賃の活用によって適正運賃の収受につながる「標準的な運賃」活用セミナーを開催した。

日 時：令和6年10月11日（金）9時30分～12時00分

場 所：熊本県トラック協会 研修センター会議室

参加者：26社29名

内 容：「標準的な運賃」告示の概要、「標準的な運賃」を踏まえた原価計算の活用

新標準貨物自動車運送約款について

講 師：全ト協 専任講師 近代経営システム 代表 森高 弘純氏

##### ③ 価格転嫁に向けた運賃交渉等相談支援事業の実施

標準的な運賃の告示が改正されたことを踏まえ、荷主企業と会員事業者が抱える運賃交渉に関する課題解消に向けて実施した。

実施日：令和6年9月4日（水）、令和6年10月11日（金）

場 所：熊本県トラック協会 研修センター会議室

参加社：3社

## 2. 重点項目

### (1) 事業後継者等の人材育成 公益1-【5】-〈1〉-イ

将来のトラック運送業界を担う優秀な人材を育成するため、ドライバーなど、人材の確保が難しい現在、社員の満足度向上と資質向上による既存社員の育成、定着を目的に、人材育成セミナーを開催した。

日 時：令和6年9月17日（火）13時30分～15時30分

演 題：「働く」に関する課題とその解決に向けた新たな取り組み

講 師：株リクルート ジョブズリサーチセンター

センター長 宇佐川 邦子 氏

参加者：26社29名

### (2) 自営転換の推進 公益1-【5】-〈2〉-ア

営業用トラックによる輸送効率化を促すため、熊ト協ホームページに会員事業者の企業情報を掲載・情報提供を行い、自家用トラックで輸送を行っている一般企業等に対して自営転換の推進を図った。  
(登録事業者数349社)

### (3) アドバイザー制度の活用 他1

会員事業者の適正な企業経営を図ることを目的に、専門のアドバイザーに業務を委託し、会員からの法律、経営及び労務に関する各種相談事案に対して速やかに対応を図った。

### (4) 金融対策等の支援 他1-2

会員事業者の事業施設やポスト新長期規制適合車両の導入などを推進するため、近代化基金による融資の推薦とその利子補給を行った。(推薦件数3件)

## 3. 全ト協と連携して行った項目

### (1) 燃料高騰対策等の推進 公益1

#### ① 激変緩和措置の更なる延長等燃料高騰対策の推進

政府与党及び行政機関に対し、燃料油価格激変緩和事業や重点支援地方交付金による支援の継続について、全ト協と連携して強力に要請を行った。

#### ② 自家用燃料供給施設整備支援助成事業 公益1-【3】

運送事業者や協同組合が燃料の安定的な確保を目的に導入する自家用燃料供給施設に対する助成を行うとともに、助成を受けた供給施設の大規模災害時の際の緊急輸送時における燃料供給体制の整備を推進した。（3社）

#### ③ 石油製品価格動向調査

石油製品価格の動向を調査するとともに、石油製品等の需給動向や価格の変動要因の分析について、毎月広報誌を通じて情報提供を行った。

## (2) 物流DXの取り組みの促進 公益1

中小トラック運送事業者における業務効率化・生産性向上のための物流DXの取り組みを促進や「データ経営」による見える化などDX推進の実現を支援するため、機器及びシステムの活用事例を紹介するセミナーを全ト協と連携し、対面式、WEBを併用して開催した。

日 時：令和6年1月14日（木）13時30分～16時30分

場 所：熊本県トラック協会 研修センター

参加者：25社28名

講 師：近代経営システム研究所 代表 森高 弘純 氏

## (3) 経営分析及び個別企業診断等の活用 公益1-【5】-〈1〉-カ

中小トラック運送事業者の経営実態を把握し、業界の指標となる経営分析報告書を作成するとともに、個別の企業診断を行い、自社の経営状態などを把握し経営改善に繋がるよう利用促進を図った。（個別企業診断希望 15社）

## (4) 中小企業大学校の講座受講促進 他1-1

優秀な管理者等の人材を育成し、トラック運送事業者の経営基盤の一層の向上を図ることを目的に、中小企業大学校の講座受講について促進した。（申込件数10名 事業費151千円）

## (5) 中小企業信用保険法業種指定のための輸送量等にかかる実態調査 他1

引き続き、信用保険法に基づく業種指定を受けるため、事業者の輸送量等の調査を行った。  
(21社、年4回)

## 〔適正化事業委員会〕

### 1. 最重点項目

#### (1) 改善基準告示(自動車運転者の労働時間等の改善のための基準)改正等に係る対応

公益1-【5】-〈1〉- (カ)

令和6年度のトラックドライバーの時間外労働上限規制の適用及び改正改善基準告示について、巡回指導を通じて改正に伴う周知を行い、会員事業者の理解促進に努めた。

#### (2) 改正「標準的な運賃・標準運送約款」の周知に係る対応 公益1-【5】-〈1〉- (カ)

掲示用の熊本起点の参考運賃表及び標準運送約款の配布を行い、改正の趣旨や内容、届出に係る周知を行うとともに、セミナーの開催により各社の運賃交渉の活性化に向けた意識啓発を行った。

#### 【標準的な運賃活用セミナーの開催状況】※再掲

標準的な運賃活用セミナー（活用編）

開催日時：令和6年10月11日（金）9時30分～12時00分

開催場所：（公社）熊本県トラック協会研修センター 参加者数26社29名

(3) 適正化事業等の推進（D・E事業所の重点化）による法令遵守の徹底 公益3－【2】

巡回指導評価が低評価であるD・E評価の事業所や新規事業者、特別巡回指導など指導の必要性が高い事業者に対する指導を重点的に行い、法令遵守の徹底に向けた指導・啓発を行った。

また、関係行政機関と連携し、速報制度並びに新規参入事業者に対する新規巡回指導及び労基特別巡回指導等の対応に努めた。

【巡回指導実績表】

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実績数		24	25	27	30	30	79	27	18	28	18	21	44	371
内訳	通常	21	20	23	29	24	29	24	12	24	15	20	18	259
	新規	2	5	2	1	4	0	2	5	2	1	1	2	27
	特別	1	0	2	0	2	2	1	1	2	2	0	0	13
	靈柩	0	0	0	0	0	48	0	0	0	0	0	24	72

(4) 安全性評価事業（Gマーク制度）の積極的な推進及び普及促進策の推進 公益3－【1】

① 安全性優良事業所数及び認定率

2024年度の安全性評価事業は、138事業所から申請があり、新規13業所、初回更新17事業所、2回目更新23事業所、3回目更新23事業所、4回目更新14事業所、5回目更新15事業所、6回目31事業所の、合計136事業所が認定を受けた。

（12月16日公表、熊本県の認定率35.5%※前年比0.6%増）

② 安全性優良事業所の拡大及び認定取得率向上対策

巡回指導時に総合評価が良好だった事業所に評価事業の申請をするよう説明するほか、次の説明会等を開催し、取得事業所の拡大及び認定取得率の向上を図った。

また、熊本運輸支局と連携し、商工団体へのGマーク認定事業所の優先利用に関する働きかけを行った。（2月5日（水）実施）

ア 安全性評価事業作成要領説明会（（公社）熊本県トラック協会研修センター）

開催日：5月9日（木） 参加者40事業所55名

イ 令和6年6月17日～28日 申請書類の事前確認、延べ53事業所参加

③ 安全性優良事業所のインセンティブ（県ト協独自）

ア 夜間従事者に対する2回目の健康診断料の一部助成2,673名2,673千円

イ Gマークラッピングトラックの実施

志柿運送株、熊本旭運輸株、中九州食品サービス株の計3台が11月から運行開始

ウ Gマーク認定事業所へののぼり旗の配布 新規及び更新事業所に対し2枚配布

エ Gマーク取得事業所の選任ドライバーの免許取得助成については、通常免許取得助成金に1万円を加算して助成。※インセンティブ対象者96名

④ 荷主企業及び一般消費者に対するGマーク制度周知

九州産交バスの熊本市内運行便の車内ヘステッカー広告を実施し、広くGマーク

制度の周知を行った。(路線毎の平均乗車数360,000人/月)

期間：令和6年12月1日～令和7年2月末日 ※3ヶ月間

台数：20台※熊本営業所及び木山営業所発着の路線便

⑤ 安全性優良事業所表彰

安全性優良事業所の認定を連續して10年以上受けており、表彰要件に該当する事業所に対して、九州運輸局長表彰及び熊本運輸支局長表彰が授与された。(平成26年度創設)

【年度別表彰事業所数】

	平成26年度～令和2年迄	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
九州運輸局長表彰	7	0	2	1	0	10
熊本運輸支局長表彰	31	3	5	0	4	43

熊本運輸支局長表彰式：令和6年10月25日(金)於：九州運輸局熊本運輸支局

## 2. 重点項目

### (1) 運行管理者試験対策 公益1－【5】

会員事業者の運行管理者試験受験者の合格率向上を図るため、専門の講師を招聘し、試験対策として、講師に自動車事故対策機構熊本支所の専任講師を招聘し、運行管理者試験対策勉強会を開催した。

【運行管理者試験対策勉強会】

- ① 開催日時：令和6年 7月26日(金) ト協研修センター (受講者 30名)
- ② 開催日時：令和6年 8月 4日(日) グランメッセ熊本 (受講者 47名)
- ③ 開催日時：令和6年 8月 9日(金) 熊本県自動車会館 (受講者 40名)  
→令和6年度第1回運行管理者試験対策勉強会受講者合計 117名
- ④ 開催期日：令和7年 2月 5日(水) グランメッセ熊本 (受講者 20名)
- ⑤ 開催期日：令和7年 2月 16日(日) グランメッセ熊本 (受講者 49名)
- ⑥ 開催期日：令和7年 2月 28日(金) グランメッセ熊本 (受講者 39名)  
→令和6年度第2回運行管理者試験対策勉強会受講者合計 108名

【運行管理者試験結果】

区分	試験実施日	申請者数	受験者数	合格者数	合格率
第1回	8月3日～9月6日	301名	277名	103名	37.2%・全国順位5位 (全国平均32.9%)
第2回	2月15日～3月16日	266名	246名	85名	34.6%・全国順位17位 (全国平均34.1%)
合計		567名	523名	188名	

(2) 熊本県貨物自動車運送適正化事業実施機関評議委員会の開催 公益3

適正化事業実施機関の組織・運営の中立性及び透明性の確立を図るため、貨物自動車運送事業法第39条に基づき、学識経験者や荷主、マスコミ、消費者団体などで構成された評議委員会を開催し適正化事業に関して外部からの提言を受け、公正かつ着実な運営の推進を図ることを目的に開催予定。

- ① 令和6年度第1回 令和6年10月24日（木）開催
- ② 令和6年度第2回 令和7年 2月25日（火）開催

(3) 運輸安全マネジメントの普及拡大 公益2－【1】

安全性評価事業の説明会や巡回指導等を通じて、運輸安全マネジメントに関するパンフレットを配布し普及促進に努めた。また、2024年事故防止カレンダーの表紙を利用して運輸安全マネジメントの作成ができるよう会員事業者へ配布し、普及拡大を行った。

(4) 法令の遵守及び安全対策の励行などに対する啓発 公益2－【1】－(1)

法令遵守等の情報提供として、「トラック広報くまもと」へ関連記事を掲載するとともに、「適正化事業課だより」の文書を発出し、会員事業者に対して法令遵守、安全対策の励行等に対する啓発活動を実施した。

適正化事業課だより（法令・安全対策）・災害だより（気象情報等）による会員に対する周知について、計17件の文書発出を行った。※2月末現在

(5) 苦情処理への適正・迅速な対応 公益3－【3】

一般消費者等からの運転マナーやドライバー等からの長時間労働などの苦情、相談に対して、適正・迅速に対応し解決に努めた。特に、運転マナーについては、事業所などの運行管理者へ乗務員教育の徹底を指導した。

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運転マナー	3	4	4	5	4	5	3	3	3	2	6	1	43
違法駐車関係	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	4
その他	0	1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	0	8
合計	4	5	5	5	5	6	4	5	5	3	7	1	55

※その他内容：高速道路上における通行区分違反等

(6) 運行管理者一般講習及び整備管理者研修費助成 公益2－【2】－(7) (8)

輸送の安全確保と車両管理体制の充実を図り、会員事業者の安定した事業運営及び運行管理等に資するため、運行管理者及び整備管理者の選任者に対し、2年に1回の受講義務のある研修費用の助成を行った。

- ① 運行管理者一般講習 受講者数 895名（計28回開催）
- ② 整備管理者選任後研修 受講者数 510名（計 7回開催）

(7) 過積載絶減運動月間の推進 公益2－【1】－(3)

「過積載絶滅運動月間（11月1日～11月30日）」に、関係行政機関（熊本県過積載防止対策連絡会議）と連携を図り、過積載運行の街頭取締り及びキャンペーン等啓発活動に参加し、運転者に対してチラシやグッズの配布を行い周知に努めた。

**【街頭取締り及び啓発キャンペーン】**

- ①令和6年11月5日（火）熊本河川国道事務所・八代維持出張所
- ②令和6年11月11日（月）四方寄計量所
- ③令和6年11月13日（水）八代インターチェンジ
- ④令和6年11月19日（火）阿蘇一の宮計量所

**【過積載運行に対する行政処分件数（車両の使用停止）】**

管内 ＼年度	令和4年	令和5年	令和6年
九州運輸局管内	1	9	13
熊本運輸支局管内	1	0	0

**(8) 可搬式適性診断機器の利用促進 公益2－【1】－<2>**

熊ト協及び各支部で貸出を行っている可搬式適性診断機器の活用を周知することにより、会員事業者の運転者に対する指導・監督の支援を行い、事故防止対策の促進とGマーク認定取得の拡大を図った。

**【貸出状況】**

（ ）は対前年比

＼	上半期（4月～9月）	下半期（10月～3月）	全期（4月～3月）
令和6年度	76事業者（10社） 1,506名（▲64名）	53事業者（7社） 1,198名（176名）	129事業者（17社） 2,704名（112名）

**[労働対策委員会]**

**1. 最重点項目**

**(1) 労働力・人材確保対策の積極的な推進 公益1－【2】－〈1〉**

生活と経済のライフラインである物流を持続的に維持していくため、運送業界の労働力確保が不可欠であることを踏まえ、トラック運送業界の社会的役割等を積極的にPRするため、以下の取組を推進した。

**① トラック運送業界の企業合同説明会の開催**

関係機関等と連携し、会員企業の採用力向上と労働力・人材確保対策のため、熊本・松橋の県内2会場において、「トラック運送業界の企業合同説明会」を対面型により開催した。

この取り組みについて、国土交通省九州運輸局のホームページへ情報掲載し、多くの来場に繋げるべく広く周知を行った。

開催場所	開催日	参加企業数	来場者数
ウイングまつばせ	令和7年2月2日（日）	9社	33名
グランメッセ熊本	令和7年2月8日（土）	21社	88名

## ② 物流出前授業等の開催

高校や大学などを訪問し、物流キャリア教育、運送業界や免許制度についての説明を行い、次代を担う若者の職業選択に関する情報提供と優秀な若年労働者の育成と運送事業の社会的地位向上に向けた物流出前授業を労働対策委員及び青年部会、女性部会の協力のもと次とおり開催した。

また、熊本運輸支局と連携して、県内高等学校等に対して、業界への就職等の働きかけを行った。

- ア 自衛隊若年退職者 〈任期制隊員 5名〉  
開催日時：令和6年 4月23日（火）13時10分～14時00分  
開催場所：陸上自衛隊健軍駐屯地
- イ 自衛隊若年退職者 〈任期制隊員 18名〉  
開催日時：令和6年 4月24日（水）13時00分～13時50分  
開催場所：陸上自衛隊北熊本駐屯地
- ウ 開新高等学校（自動車科3年） 〈生徒35名、教諭4名〉  
開催日時：令和6年 6月17日（月）13時30分～14時20分  
開催場所：図書室
- エ 熊本学園大学（商学部1年） 〈学生70名、教授1名〉  
開催日時：令和6年 7月 9日（火）13時00分～14時30分  
開催場所：12号館
- オ 熊本国府高等学校 〈生徒530名、教諭15名〉  
開催日時：令和6年10月29日（火）14時25分～15時15分  
開催場所：体育館
- カ 熊本学園大学 〈学生30名、教授1名〉  
開催日時：令和6年11月18日（月）14時40分～16時10分  
開催場所：14号館1F1421教室
- キ 九州学院高等学校 〈生徒6名、教諭2名〉  
開催日時：令和6年12月 9日（月）16時40分～17時30分  
開催場所：教室
- ク 菊池女子高等学校 〈生徒100名、教諭5名〉  
開催日時：令和7年 1月15日（水）14時40分～15時30分  
開催場所：ホール
- ケ 有明高等学校 〈生徒149名、教諭7名〉  
開催日時：令和7年 3月11日（火）11時10分～12時00分  
開催場所：みらい館（講義室）

③ 高校新卒者等の採用促進のための総合的な対策の実施

高校新卒者等の採用を促進し、若年ドライバーの確保を図るため、サマースクールを開催。

開催日時：令和6年 9月5日（木）10時00分～12時00分

開催場所：(株)永井運送 NEX1 Logistics Center

参加者：熊本学園大学3年生 15名（学生14名、教授1名）

九州産業大学3年生 15名（学生14名、教授1名）

④ 人材確保に向けた各種取り組み

- ・ハローワーク熊本職業理解セミナー

開催日時：令和6年8月27日（火）14時00分～15時30分

開催場所：ハローワーク熊本3F会議室

参加者：求職者17名

- ・ハローワーク熊本就職相談会

ア. 開催日時：令和6年11月19日（火）9時30分～11時00分

参加企業4社・求職者8名

イ. 開催日時：令和6年12月4日（水）13時30分～15時00分

参加企業4社・求職者11名

⑤ 退職予定自衛官向け運輸業合同説明会の開催

大型免許等を保持し即戦力として期待される退職予定自衛官及び早期退職予定自衛官等に対して、座学による運送業界の社会的役割や重要性の説明を行うとともに、実際に運転体験を提供するなどの運輸業合同説明会を新たに開催した。

開催日時：令和6年7月18日（木）13時30分～16時30分

開催場所：北熊本駐屯地

参加者：退職予定自衛官及び任期制早期退職自衛官119名

⑥ くまもと産業復興エキスポの出展

熊本県が主催する「くまもと産業復興エキスポ2025」へ出展し、公共輸送であるトラック輸送を持続可能なものとするため、物流の2024年問題や価格転嫁等の必要性についてPRを行った。

- ・事業名：くまもと産業復興エキスポの出展

来場者数：11,300名（熊本県へ進出検討の企業、台湾半導体関連企業、大学・高専・高校生等の学生・教員、地方自治体職員、商工業団体関係者等）

開催日：令和7年2月20日（木）～21日（金）

開催場所：グランメッセ熊本・展示ホール

（2）「働き方改革」の実現に向けた対策の推進 公益1－【5】－<1>

- ① 「トラック輸送における取引環境・労働時間改善熊本県地方協議会」の取組として、「物流の適正化・生産性向上に向けた荷主事業者・物流事業者の取組に関するガイドライン」の周知を目的に県内荷主約3,000社及び運送事業者約760社宛てフォローアップ調査を行った。
- 【構成員】学識経験者、荷主企業、運送事業者、関係団体等

・第17回熊本県地方協議会

開催日時：令和7年 3月10日（月）13時30分～

開催場所：（公社）熊本県トラック協会研修センター会議室

【構成員】熊本運輸支局、荷主団体、運送事業者

・ トラック運転者の長時間労働抑制のための調査業務に関する第1回打合せ会議

開催日時：令和6年 7月 8日（月）15時55分～17時30分

開催場所：熊本運輸支局 2F会議室

出席者：熊本運輸支局、熊本労働局、コンサルタント、県ト協

・ トラック運転者の長時間労働抑制のための調査業務に関する第2回打合せ会議

開催日時：令和6年12月23日（月）13時30分～14時45分

開催場所：熊本運輸支局 2F会議室・WEB併用

出席者：熊本運輸支局、熊本労働局、コンサルタント、県ト協

・ トラック運転者の長時間労働抑制のための調査業務に関する事業者ヒアリング

実施期間：令和7年 1月10日（金）～令和7年 2月 6日（木）

開催場所：熊本運輸支局 2F会議室・WEB併用

出席者：荷主企業、運送事業者、熊本運輸支局、熊本労働局、コンサルタント、県ト協

② 物流革新に向けた政策パッケージに基づく物流の2024年問題への適切な対応

時間外労働の上限規制や改善基準告示の改正により、物流の2024年問題へ適切に対応するため、セミナー等を通じて周知徹底を行った。

開催日時：ア 令和6年10月17日（木）13時30分～15時30分

イ 令和6年10月18日（金）13時30分～15時30分

ウ 令和6年11月21日（木）13時30分～15時30分

開催場所：ア 県央 グランメッセ熊本

イ 県北 玉名市民会館

ウ 県南 八代ハイモニーホール

講 師：流通経済大学 流通情報学部 教授 大島弘明 氏

セミナー内容

- 持続可能な物流の維持に向けて、改正標準的な運賃の活用や標準運送約款の一部改正、物流革新政策パッケージ、物流の適正化・生産性向上に向けた荷主事業者・物流事業者の取組に関するガイドライン（3省ガイドライン）の活用等

参加者：ア 35社36名※うち荷主企業4社4名含む  
イ 16社16名※うち荷主企業3社3名含む  
ウ 16社16名※うち荷主企業1社1名含む 合計67社68名受講

## 2. 重点項目

### (1) 過労死等防止、健康状態に起因する事故及びメンタルヘルス対策の推進

#### 公益1－【5】－<1>－(エ)

今年度の事業計画に基づき、セミナーや助成事業等を通じて、過労死防止や健康起因事故防止対策の普及促進に努める。

##### ① 各種セミナーの開催 公益1－【5】－<1>－(エ)

###### ア 過労死等防止対策セミナー

日 時:令和6年11月12日 (火) 13時30分～16時00分

場 所:熊本県自動車会館

受講者：12社17名

講 師: SOMPOリスクマネジメント(株) シニアコンサルタント 土谷 隆司 氏

セミナー内容:過労死等と健康起因事故の現状、健康起因事故に対する国の動向、生活習慣の改善、健康チェックシートの使用方法と解説

###### イ 陸運事業者のための安全マネジメント研修

日 時:令和6年10月22日 (火) 13時30分～16時30分

場 所:熊ト協研修センターハイテク会議室

受講者：36名

講 師:陸災防安全管理士・田畠 裕二 氏

セミナー内容:「運輸安全マネジメント」と「R I KMS」の概要説明、一体的運用方法、リスクアセスメントについて

##### ② 助成事業 公益2－【2】

ア 血圧計導入促進助成 18社 21台 1,042,050円

イ 睡眠時無呼吸症候群 (S A S) スクリーニング検査助成

26社 187名 935,000円

### (2) 大型・中型・準中型・けん引免許取得助成 公益1－【2】－<1>

若年ドライバーの確保及びドライバー不足の解消を図るため、会員事業者に在籍している運転者の他、免許取得後に会員事業者に入社する一般の運転者を対象に、大型・中型・準中型免許・けん引免許の取得費用の一部を助成し、雇用の安定確保を図った。

助成件数 (内訳)	大型	97名	7,450千円
	中型	15名	810千円
	準中型	9名	330千円
	限定解除	5名	200千円

けん引	30名	1,020千円
特例講習	1名	93千円
合 計	157名	9,903千円
※うちGマークインセンティブ 96名含む		

### (3) 健康診断料の助成 公益2－【2】－<2>

運転中におけるドライバーの突発的な運転不能障害を引き起こす可能性が高い疾患を予防し、定期健康診断の受診率の向上と有所見率の低下に向けて、会員事業所に勤務するドライバーを対象に生活習慣病予防健診、一般健診及び突発性運転不能障害疾患検査（脳ドック、心臓ドック）の助成を行った。

また、深夜業務等を行っている安全性評価制度・認定事業所については、取得のインセンティブとして、特定業務従事者（夜間従事者）のドライバーに対する健診料の一部を助成した。

◇助成件数（内訳）定期健康診断	7,800名	15,600,000円
Gマークインセンティブ助成	2,673名	2,673,000円
脳ドック・心臓ドック	69名	345,000円
合 計	10,542名	18,618,000円

### (4) 感染症対策の対応 公益1－【2】－<2>

国民生活と経済を支える持続的な物流の維持・確保を図るため、トラックドライバー等の感染防止対策として、マスクの購入を進めた。

## 〔専門部会〕

現在設置されている8部会（食料品部会、木材輸送部会、重量物輸送部会、ダンプトラック部会、セメント部会、引越部会、青年部会・総運会、女性部会）において、輸送秩序の確立や、事業経営の円滑化等共通の項目について推進を図った。

なお、本年度上半期の活動は次のとおりです。

### 1. 食料品部会

- (1) 4月19日（金）鹿児島天文館・九ト協食料品部会
- (2) 8月 1日（木）城山ホテル鹿児島・全ト協第45回食料品部会総会
- (3) 8月 9日（金）熊ト協会議室・第1回部員会議
- (4) 9月13日（金）ホテルグランデはぐくれ・福ト協食料品部会全体会議及び実務担当者会議
- (5) 9月20日（金）博多八仙閣本店・令和6年度九州各県トラック協会食料品部会全体交流会
- (6) 2月10日（月）ワントーションホテル・農林水産省戎井室長との懇談会・第2回部員会議及び実務担当者研修会
- (7) 3月17日（月）全ト協会議室・全ト協食料品部会研修会・交流会
- (8) 3月28日（金）和歌山県勤労福祉会館プラザホープ・農業産地における今後の物流情勢に

## についての研修会

### 2. 木材輸送部会

- (1) 7月16日(火) ホテルマイステイズ鹿児島天文館・部会長会議
- (2) 7月18日(木) 熊ト協会議室・第1回部員会議
- (3) 9月10日(火) 勤労者交流センター・事務局担当者会議
- (4) 10月16日(水) 熊ト協会議室・第2回部員会議
- (5) 11月12日(火) 熊本木材㈱・木材輸送デモンストレーションフェア
- (6) 11月29日(金) ホテルマイステイズ鹿児島天文館  
南九州四県合同木材輸送部会「鹿児島大会」
- (7) 2月20日(木) 熊ト協会議室・第3回部員会議

### 3. 重量物輸送部会

- (1) 4月26日(金) 全ト協会議室・重量部会常任委員会
- (2) 5月14日(火) 九ト協会議室・第1回九州ブロック重量部会会議
- (3) 6月17日(月) 札幌パークホテル・全ト協重量部会総会
- (4) 7月12日(金) シアーズホーム夢ホール会議室・第1回部員会議
- (5) 10月11日(金) 九ト協会議室・第2回九州ブロック重量部会会議
- (6) 2月 6日(木) ロワジールホテル那覇・令和6年度経営者研修会
- (7) 2月18日(火) 博多八仙閣本店・第3回九州ブロック重量部会会議及び  
令和6年度九州ブロック重量部会全体交流会
- (8) 2月21日(金) シアーズホーム夢ホール会議室・第2回部員会議

### 4. ダンプトラック部会

- (1) 9月 4日(水) 札幌パークホテル・全ト協第48回ダンプトラック部会
- (2) 9月11日(水) 城南支部会議室・第1回部員会議
- (3) 1月16日(木) 九州各県ダンプトラック部会標準的運賃収受のための要請活動
- (4) 2月19日(水) 熊ト協会議室・第2回部員会議
- (5) 3月10日(月) 全ト協会議室・各県トラック協会ダンプトラック部会長会議

### 5. セメント部会

- (1) 5月22日(水) 城南支部会議室・第1回部員会議
- (2) 7月19日(金) 全ト協会議室・第42回セメント部会総会
- (3) 9月 5日(木) 城南支部会議室・第2回部員会議
- (4) 11月8日(金) ホテル日航熊本・九州4県セメント合同部会
- (5) 2月25日(火) 城南支部会議室・第3回部員会議
- (6) 3月13日(木) 東京都トラック総合会館・全ト協セメント部会・生コンクリート輸送部会  
合同研修会

## 6. 引越部会

- (1) 7月17日 (水) 札幌パークホテル・全ト協第54回引越部会総会
- (2) 8月 7日 (水) 熊ト協会議室・第1回部員会議
- (3) 9月 6日 (金) 稲佐山観光ホテル・九州引越部会合同研修会
- (4) 2月 6日 (木) 熊ト協会議室・第2回部員会議

## 7. 青年部会総運会

- (1) 4月18日 (木) ホテル日航熊本・令和6年度通常総会
- (2) 4月18日 (木) ホテル日航熊本・第1回正副、役員会
- (3) 6月11日 (火) TKP熊本カンファレンスセンター・第2回正副、役員会
- (4) 8月28日 (水) TKP熊本カンファレンスセンター・第3回正副、役員会
- (5) 11月26日 (火) TKP熊本カンファレンスセンター・第4回正副、役員会
- (6) 2月26日 (水) TKP熊本カンファレンスセンター・第5回正副、役員会
- (7) 5月23日 (木) 市民会館シアーズホーム夢ホール・九州ブロック大会実行委員会
- (8) 7月25日 (木) 市民会館シアーズホーム夢ホール・九州ブロック大会実行委員会
- (9) 9月12日 (木) 市民会館シアーズホーム夢ホール・九州ブロック大会実行委員会
- (10) 10月24日 (木) 市民会館シアーズホーム夢ホール・九州ブロック大会実行委員会
- (11) 12月10日 (火) 市民会館シアーズホーム夢ホール・九州ブロック大会実行委員会
- (12) 1月21日 (火) 市民会館シアーズホーム夢ホール・九州ブロック大会実行委員会
- (13) 4月25日 (木) アートホテル大分・九州地区運輸青年部連絡協議会第1回役員会
- (14) 5月30日 (木) ホテル日航熊本・九州地区運輸青年部連絡協議会第2回役員会
- (15) 9月12日 (木) オンライン会議・九州地区運輸青年部連絡協議会第3回役員会
- (16) 11月13日 (水) 熊ト協研修会館・九州地区運輸青年部連絡協議会第4回役員会
- (17) 6月21日 (金) 全ト協・第1回全ト協青年部会正副部会長会議
- (18) 7月31日 (水) 全ト協・第2回全ト協青年部会正副部会長会議
- (19) 10月 8日 (火) 全ト協・第3回全ト協青年部会正副部会長会議
- (20) 11月21日 (木) 全ト協・第4回全ト協青年部会正副部会長会議
- (21) 1月17日 (金) 全ト協・第5回全ト協青年部会正副部会長会議
- (22) 2月13日 (木) 全ト協・第6回全ト協青年部会正副部会長会議
- (23) 6月21日 (金) 全ト協・第1回全ト協青年部会全国代表者協議会
- (24) 11月21日 (木) 全ト協・第2回全ト協青年部会全国代表者協議会
- (25) 2月13日 (木) 全ト協・第3回全ト協青年部会全国代表者協議会
- (26) 2月14日 (金) 京王プラザホテル・全ト協青年部会全国大会
- (27) 7月11日 (木) ~13日 (土) 先進企業等視察研修・北海道
- (28) 7月27日 (土) 熊本市流通情報会館・こども仕事体験フェスタ inくまもと
- (29) 8月20日 (火) 宮崎県宮崎市・鹿児島県・宮崎県ト協青年部との3県交流会
- (30) 9月14日 (土) 熊本市・大阪府トラック協会中央支部青年協議会
- (31) 9月28日 (土) 熊本市・大阪府トラック協会南大阪支部青年協議会
- (32) 11月26日 (火) TKP熊本カンファレンスセンター・青年部会セミナー

## 8. 女性部会（肥後六花会）

- (1) 4月 5日（金）すがを・女性部会情報交換会
- (2) 6月 14日（金）全ト協会議室・全ト協女性部会全国代表者協議会
- (3) 7月 25日（木）Q-Lounge NAGASAKI・九州ブロック女性協議会第1回役員会
- (4) 8月 23日（金）熊ト協会議室・第1回部員会議
- (5) 9月 13日（金）京王プラザホテル・全ト協女性部会全国研修会
- (6) 10月 16日（水）Q-Lounge NAGASAKI・九州ブロック女性協議会第2回役員会
- (7) 11月 22日（金）シェラトングランデオーシャンリゾート・全ト協女性部会九州ブロック研修会
- (8) 1月 10日（金）HAKATA屋・女性部会情報交換会
- (9) 2月 19日（水）Q-Lounge NAGASAKI・九州ブロック女性協議会第3回役員会
- (10) 2月 21日（金）熊ト協会議室・第2回部員会議及び研修会

## 9. 飼料畜産・輸送部会

- (1) 5月 9日（木）熊ト協会議室・第1回部員会議
- (2) 8月 8日（木）熊ト協会議室・第2回部員会議
- (3) 8月 21日（水）福ト協会議室・第1回九州ブロック飼料・畜産部会
- (4) 10月 30日（水）ニューウェルシティ宮崎・九州ブロック飼料・畜産部会合同研修会
- (5) 2月 4日（火）熊ト協会議室・第3回部員会議